

●6年制学科のカリキュラムの特色

Science、Art、Humanityのバランスが取れた薬剤師であるファーマシスト・サイエンティストの育成

●病院や薬局の実務実習 特色や取り組み

薬局と病院施設の連携(グループ化)を強化し、薬局・病院における合計22週間の一貫性のある実務実習を構築することで、学修効果の高い実習を目指している。また、実習生の帰省先での実務実習(ふるさと実習)において、現地に指導担当教員を配置し、手厚い指導を行っている。

●病院実習先・薬局実習先

京都府立医科大学附属病院、滋賀医科大学医学部附属病院、洛和会音羽病院、京都大学医学部附属病院等 199カ所

みやこ薬局等 調整機構により実習先を確保 322カ所

●アドバンスト(臨床)実習

5年次からの総合薬学研究Bでは探求薬学コースと実践薬学コースに分かれ、特に実践薬学コースでは社会実践的な観点から医薬開発ユニット、地域医療ユニット、薬物療法ユニットの3つの研究ユニットを設置しており、選択したユニットに応じた独自のプログラムを受講する。

医薬開発ユニットでは、医薬品開発に関連する文献やデータベース等を収集・解析し、データマネジメントや統計解析、レポートニングなどの基礎的知識や技術を修得する。地域医療ユニットでは、多様化する医療に対応するため、京都橘大学との合同多職種連携教育(IPE)の実施や医療機関での在宅チーム医療研修を通して、地域医療における薬剤師や他の医療系専門職の役割や考え方を学ぶ。薬物療法ユニットでは、医療現場との共同研究等を通して、直面する問題点や薬剤師に求められる知識や役割を理解するための文献情報の検索・評価、患者情報等の整理・解析を行うための基礎的知識や技術を習得する。

●多職種連携教育の具体的な内容

多様化する医療に対応するため、チーム医療で活躍できる人材育成を目的に京都橘大学との合同多職種連携教育(IPE)の実施。薬学や看護学、理学療法学など異なる医療教育を学ぶ学生が今求められる医療について一つの症例シナリオを通して話し合うことで専門性と実践能力を育む。

渡辺西賀茂診療所(京都市)と、ゆう薬局グループの協力のもと、実施している在宅研修アドバンストプログラムにおいて、各専門職指

導者の指導を受けながら、同所で実習している研修医、医学生、看護学生、リハビリ関連職の学生などと一緒に行動し、ターミナルケアや過疎地域での在宅チーム医療実習を行っている。

●多職種連携教育を行う医療施設名

渡辺西賀茂診療所、ゆう薬局グループ

●薬剤師国家試験への取り組み

6年次後期に「アドバンスト薬学」を開設し、基礎から応用、実務実習の内容も含めた総合力を身につける。

●卒業研究について

3年次後期から分野等に所属し、研究の基礎手法や取組姿勢等の研究に対する素養を身に付ける。5年次では研究コースを選択し、コースに応じて研究を進め、問題発見・問題解決能力を実践的に醸成する。6年次前期には研究成果をまとめ、原則英語で発表する。

●入試の変更点

なし

●入試に合格するためのアドバイス

高校の教科書をよく勉強してください。また、過去の入試問題をやっておくと傾向がわかるのでお勧めします。

●過去問を公開しておられますか

https://www.kyoto-phu.ac.jp/exam_information/entryinfo/past_data/index.html

●面接や小論文について教えてください

回答なし

●大学独自の奨学金制度

HPIに掲載あり

https://www.kyoto-phu.ac.jp/campus_life/scholarship/

●地域のアパート・マンションのモデル家賃

回答なし

●オープンキャンパスの日程

OPEN CAMPUS 2023

2023年6月4日

学長メッセージ、大学紹介、在学生の話、卒業生の話、模擬授業、施設見学、個別相談コーナー、学生企画、模擬授業、経済的支援に関する説明会、進路説明会

2023年8月5日

学長メッセージ、大学紹介、在学生の話、卒業生の話、施設見学、体験実習、研究室見学、模擬

授業、個別相談コーナー、学生企画、新入試制度説明会、6年間の学びと進路に関する講演

2023年8月6日

学長メッセージ、大学紹介、在学生の話、卒業生の話、施設見学、体験実習、研究室見学、模擬授業、個別相談コーナー、学生企画、新入試制度説明会、6年間の学びと進路に関する講演

2023年10月15日

学長メッセージ、大学紹介、在学生の話、卒業生の話、施設見学、個別相談コーナー、学生企画、6年間の学びに関する講演、新入試制度説明会、経済的支援に関する説明会、進路説明会